

§ インフルエンザワクチンの接種を受けられる方へ §

インフルエンザは、毎年冬になると大なり小なりの流行が起こります。ワクチンの接種は感染の機会の多い乳幼児，小学生，中学生だけでなく重篤になりやすい高齢者も受ける事が望まれます。また、慢性疾患をもっている方はかかりつけの医師の診断を受けてから接種を受けるようにして下さい。

〈接種を受ける時の注意〉

1. 予診票は正確に記入して下さい。
2. 接種を受ける日の起床時に体温を計って記入しておいて下さい。
3. 一般に高齢者では、生理機能が低下していますので接種に当たっては予診等を慎重に行い、健康状態には十分に注意して下さい。
4. 過去にゼラチン含有製剤の投与（接種），またゼラチンを含んだ食物でショックやアナフィラキシー様症状（じんましん，呼吸困難，唇が腫れる，のどが腫れるなどの強いアレルギー反応）になった事がある方は、医師によく相談して下さい。

〈接種を受ける事が適当でない方〉

被接種者が次のいずれかに該当すると認められる場合には、接種を受けしないで下さい。

1. 明らかな発熱がある方
2. 重篤な急性疾患にかかっている事が明らかな方
3. 本剤の成分によってアナフィラキシーを呈した事がある方
4. 上記に掲げる方のほか、予防接種を行う事が不適当な状態にある方
5. ニワトリの肉や卵にアレルギーがある方は接種できません。

〈接種の判断を行うに際し、注意を要する方〉

被接種者が次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質を勘案し診察及び接種適否の判断を慎重に行い、注意して接種します。

1. 心臓血管系疾患，腎臓疾患，肝臓疾患，血液疾患及び発育障害等の基礎疾患を有する事が明らかな方
2. 前回の予防接種で2日以内に発熱のみられた方，又は全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈した事がある方
3. 過去にけいれんの既往のある方
4. 過去に免疫不全の診断がなされている方
5. 本剤の成分又は鶏卵，鶏肉，その他鶏由来のものに対して、アレルギーを呈する恐れのある方
6. 妊娠又は妊娠している可能性のある方

〈接種後の症状〉

まれに、急性散在性脳脊髄炎（ADEM）があらわれる事があります。通常接種後数日から2週間以内に発熱，頭痛，けいれん，運動障害，意識障害等があらわれます。本症が疑われる場合には適切な診断を受けて下さい。

局所の発赤，腫脹，疼痛等，また、全身反応として発熱，悪寒，頭痛，倦怠感等を認める事がありますが、通常2～3日中に消失します。

〈接種後の注意〉

1. 接種当日は激しい運動や大量の飲酒は避け、安静にして下さい。
2. 接種部位を清潔に保って下さい。接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射部位をこするのは避けて下さい。
3. 接種後の健康監視に留意し、体調の変化，さらに高熱，けいれん等の異常な症状を呈した場合には速やかに医師の診察を受けて下さい。注射部位が赤く腫れたり痛む事がありますが、いずれも一過性で通常2～3日で消失します。